

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月17日 (2019.1.17)

【公開番号】特開2017-68272(P2017-68272A)

【公開日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2016-218639(P2016-218639)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 6 F 3/0484 (2013.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 V

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 5/00 5 5 5 D

G 0 9 G 5/00 5 5 5 G

G 0 9 G 5/36 5 2 0 P

G 0 6 F 3/0484

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月30日 (2018.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

そこで本発明は、投影される投影データに対応する画像データを携帯端末で簡単に表示させ、当該画像データを携帯端末で確認しやすい仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記の目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、携帯端末と通信可能であって、投影領域に投影データを投影する投影手段を備える投影装置と、情報処理装置とを含む情報処理システムであって、前記投影手段で投影される投影領域における前記携帯端末の位置を検知する検知手段と、前記検知手段で検知された前記携帯端末に、前記投影データに対応する画像データを表示するよう制御する表示制御手段と、を備え、前記表示制御手段は、前記検知手段で検知された携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態で当該携帯端末に表示するよう制御することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、投影される投影データに対応する画像データを携帯端末で簡単に表示させ、当該画像データを携帯端末で確認しやすい仕組みを提供することを可能とする。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 特 許 請 求 の 範 囲

【 補 正 対 象 項 目 名 】 全 文

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 特 許 請 求 の 範 囲 】

【 請 求 項 1 】

携帯端末と通信可能であって、投影領域に投影データを投影する投影手段を備える投影装置と、情報処理装置とを含む情報処理システムであって、

前記投影手段で投影される投影領域における前記携帯端末の位置を検知する検知手段と、

前記検知手段で検知された前記携帯端末に、前記投影データに対応する画像データを表示するよう制御する表示制御手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、前記検知手段で検知された携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態で当該携帯端末に表示するよう制御することを特徴とする情報処理システム。

【 請 求 項 2 】

前記投影手段は、前記携帯端末で表示する画像データに対応する投影データの投影を抑制することを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

【 請 求 項 3 】

前記投影領域において前記携帯端末が重なる領域を特定する特定手段と、

を更に備え、

前記特定手段は、前記検知手段で検知された前記携帯端末の位置に基づいて前記重なる領域を特定し、前記表示制御手段で当該重なる領域に対応する範囲の画像データを前記携帯端末に表示するよう制御することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理システム。

【 請 求 項 4 】

前記表示制御手段は、前記検知手段で検知された前記携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記重なる領域に対応する範囲の画像データの表示から、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態の表示に切り替えるよう当該携帯端末の表示を制御することを特徴とする請求項3に記載の情報処理システム。

【 請 求 項 5 】

携帯端末と通信可能であって、投影領域に投影データを投影する投影手段を備える投影装置と、情報処理装置とを含む情報処理システムの制御方法であって、

前記投影手段で投影される投影領域における前記携帯端末の位置を検知する検知ステップと、

前記検知ステップで検知された前記携帯端末に、前記投影データに対応する画像データを表示するよう制御する表示制御ステップと、

を含み、

前記表示制御ステップは、前記検知ステップで検知された携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態で当該携帯端末に表示するよう制御することを特徴とする情報処理システムの制御方法。

【 請 求 項 6 】

携帯端末と通信可能であって、投影領域に投影データを投影する投影手段を備える投影

装置と、情報処理装置を含む情報処理システムとして機能させるためのプログラムであって、

前記情報処理システムを、

前記投影手段で投影される投影領域における前記携帯端末の位置を検知する検知手段と

、

前記検知手段で検知された前記携帯端末に、前記投影データに対応する画像データを表示するよう制御する表示制御手段、

として機能させ、

前記表示制御手段は、前記検知手段で検知された携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態で当該携帯端末に表示するよう制御するためのプログラム。

【請求項 7】

携帯端末と、投影領域に投影データを投影する投影手段を備える投影装置と通信可能な情報処理装置であって、

前記投影手段で投影される投影領域における前記携帯端末の位置を検知する検知手段と

、

前記検知手段で検知された前記携帯端末に、前記投影データに対応する画像データを表示するよう制御する表示制御手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、前記検知手段で検知された携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態で当該携帯端末に表示するよう制御することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】

携帯端末と、投影領域に投影データを投影する投影手段を備える投影装置と通信可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記投影手段で投影される投影領域における前記携帯端末の位置を検知する検知手段と

、

前記検知手段で検知された前記携帯端末に、前記投影データに対応する画像データを表示するよう制御する表示制御手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、前記検知手段で検知された携帯端末が前記投影領域外に移動したことを検知した場合には、前記画像データの表示範囲を変更可能な状態で当該携帯端末に表示するよう制御することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 9】

コンピュータを、請求項 7 に記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。